*Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831)

## 日本産コクヌスト科のリスト

吉富博之・浅川大喜

〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学農学部昆虫学研究室

### List of Japanese Trogossitidae

Hiroyuki YOSHITOMI and Daiki ASAKAWA

#### はじめに

コクヌスト科 Trogossitidae はカッコウムシ上科 Cleroidea に属し、世界から 50 属 600 種程度が知られる。以前はいくつかの科に分けて扱われることがあったが (Crowson, 1964), 現在は 1 科 3 亜科とすることが多い (Kolibáč, 2013)。Kolibáč (2013) は、世界の種のリストと検索を示したいへん有用であるが、種の分類に関しては研究が遅れており未解明の部分が多い。

日本産種については、「原色昆虫大図鑑 (II) 甲虫編」(中根, 1963) に 16 種、「原色甲虫図鑑 (III)」(宮武, 1985) に 18 種が図示されており、普通種に

関しては総合わせで同定が可能である。しかし未だに分類学的に混乱がみられ、近年変更された学名等も存在する。そこで、現段階での日本産種のリストを整備し、手元にある標本の写真を示すことにした。2 種の分布新記録および写真撮影に使用した標本は、全て愛媛大学ミュージアムに保管されている。

#### リスト

配列や学名は、基本的に Kolibáč (2013) に従った。宮武 (1985) 以降に追加された分布記録等については、適宜コメントを付した。



図1-4. 日本産コクヌスト科の生体写真。1, オオコクヌスト; 2, ハロルドヒメコクヌスト; 3, セダカコクヌスト; 4, オオズセダカコクヌスト (幼虫)。

コクヌスト科 Family Trogossitidae Latreille, 1802

コクヌスト亜科

Subfamily Trogossitinae Latreille, 1802

Tribe Gymnochilini Lacordaire, 1854

オオメコクヌスト属 Genus *Anacypta* Illiger, 1807

マダラオオメコクヌスト *Anacypta higonina* (Lewis, 1888) (図5) 日本 (九州, 屋久島) .

ゴマダラコクヌスト属

Genus *Kolibacia* Leschen & Lackner, 2013

オキナワゴマダラコクヌスト *Kolibacia okinawana* Yoshitomi & Lee, 2014 (図6) 日本 (奄美大島, 沖縄島) .

ゴマダラコクヌスト *Kolibacia squamulata* (Gebler, 1830) (図7) 日本 (北海道, 本州), ロシア (極東), モンゴル, 北朝鮮, 中国.

ツシマゴマダラコクヌスト *Kolibacia tsushima* (Nakane, 1985) (図8) 日本 (対馬) .

前種の亜種として記載されたが, 宮武 (1985) や Yoshitomi & Lee (2014) は独立種として扱っている.

オオゴマダラコクヌスト *Kolibacia tibialis* (Reitter, 1889) (図9) 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州) .

和名は“オオマダラコクヌスト”と表記されることが多いが, Yoshitomi & Lee (2014) に従い表記名を示す.

アサヒナコクヌスト属

Genus *Xenoglena* Reitter, 1876

アサヒナコクヌスト *Xenoglena asahinai* (Kono, 1938) (図10) 日本 (北海道, 本州) .

本種の北海道の記録は, 佐々木 (1984), 平野 (1986) や西田・荒木 (1987) によって報告されている. 本種はおそらくロシアなどに分布する *X. quadrisignata* Mannerheim, 1852 の新参シノニムと考えられるが, しっかり検討されていない. Kolibáč (2013) ではこれら両種が日本に分布することになっている.

Tribe Trogossitini Latreille, 1802

オオコクヌスト属

Genus *Temnoscheila* Westwood, 1830

オオコクヌスト *Temnoscheila japonica* Reitter, 1875 (図1, 11) 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 小豆島), 北朝鮮, ロシア (極東), 中国.

コクヌスト属

Genus *Tenebroides* Piller & Mitterpacher, 1783

コクヌスト *Tenebroides mauritanicus* (Linnaeus, 1758)

(図12) 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 小笠原, 対馬), 汎世界.

デメコクヌスト *Tenebroides ocellaris* Lewis, 1894 日本 (北海道) .

ヒラタコクヌスト亜科

Subfamily Peltinae Latreille, 1806

Tribe Peltini Latreille, 1806

ヒラタコクヌスト属 Genus *Peltis* O. F. Muller, 1764

カバヒロコクヌスト *Peltis ferruginea* (Linnaeus, 1758)

(図13) ヨーロッパ, ロシア, 北朝鮮, 北アメリカ, 日本 (北海道, 本州) .

本種の本州における記録は, 倉橋 (1964) が最初であるが (芳賀 (1983) もそのことに触れ追加記録している), 鳥飼 (1974), 吉富 (1989) や山崎 (1992) が誤って本州初記録として報告している. 現在のところ, 本州での分布西限は木曾御嶽山付近と思われる.

オオヒラタコクヌスト *Peltis gigantea* Reitter, 1882 (図14) 日本 (北海道, 本州, 対馬), ロシア (極東), 中国.

*Ostoma valida* Lewis, 1894 は Komagatake と Junsai (駒ヶ岳と蓴菜沼) の8個体を元に記載されているが, 本種のシノニムの可能性が高いと考えられている (Kolibáč, 2013) .

Tribe Thymalini Leveille, 1888

セダカコクヌスト属

Genus *Thymalus* Latreille, 1802

オオズセダカコクヌスト *Thymalus laticeps* Lewis, 1894 (図17) 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州) .

島根県初記録 (標本データ: 8 exs., 雲南市毛無山, 6. XI. 2017, 吉富博之採集) .

セダカコクヌスト *Thymalus parviceps* Lewis, 1894 (図3, 4, 18) 日本 (北海道, 本州, 四国, 九州, 隠岐); サハリン.

隠岐初記録 (4 exs., 隠岐の島町大満寺山, 6. VI. 2016, 吉富博之採集) .

ユヤマセダカコクヌスト *Thymalus punctidorsum* Lewis, 1894 日本 (本州, 九州) .

アマミセダカコクヌスト *Thymalus amamiensis* Miyatake, 1985 (図19) 日本 (奄美大島, 沖縄島) .

本種は保育社の「原色甲虫図鑑 (III)」 (宮武, 1985) が原記載となっているため, Kolibáč (2013) では拾われていない. 近いうちに再記載を行う予定である.

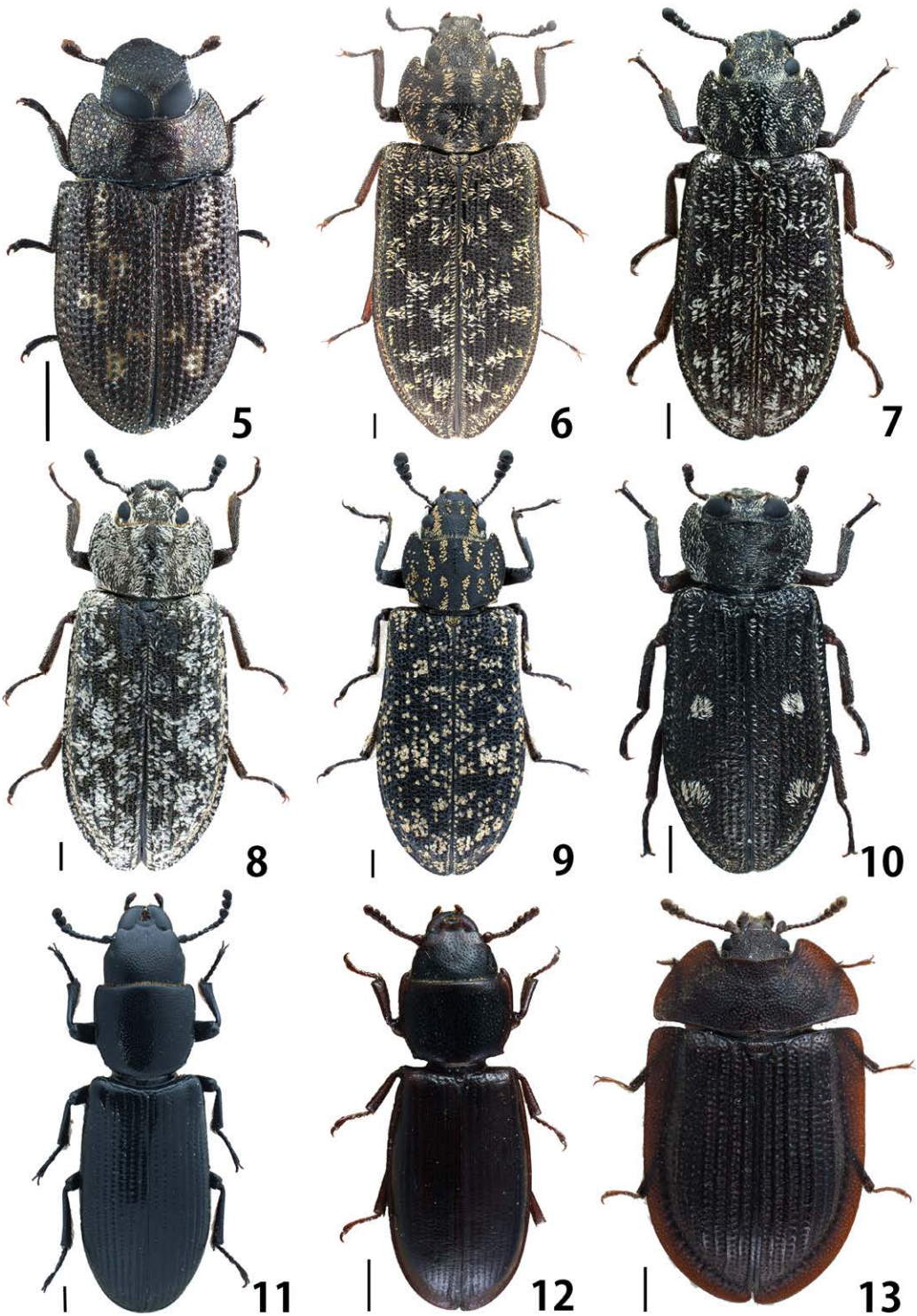


図5-13. 日本産コクヌスト科。5, マダラオオメコクヌスト; 6, オキナワゴマダラコクヌスト; 7, ゴマダラコクヌスト; 8, ツシマゴマダラコクヌスト; 9, オオゴマダラコクヌスト; 10, アサヒナコクヌスト; 11, オオコクヌスト; 12, コクヌスト; 13, カバイロコクヌスト。スケールは全て1.0 mm。

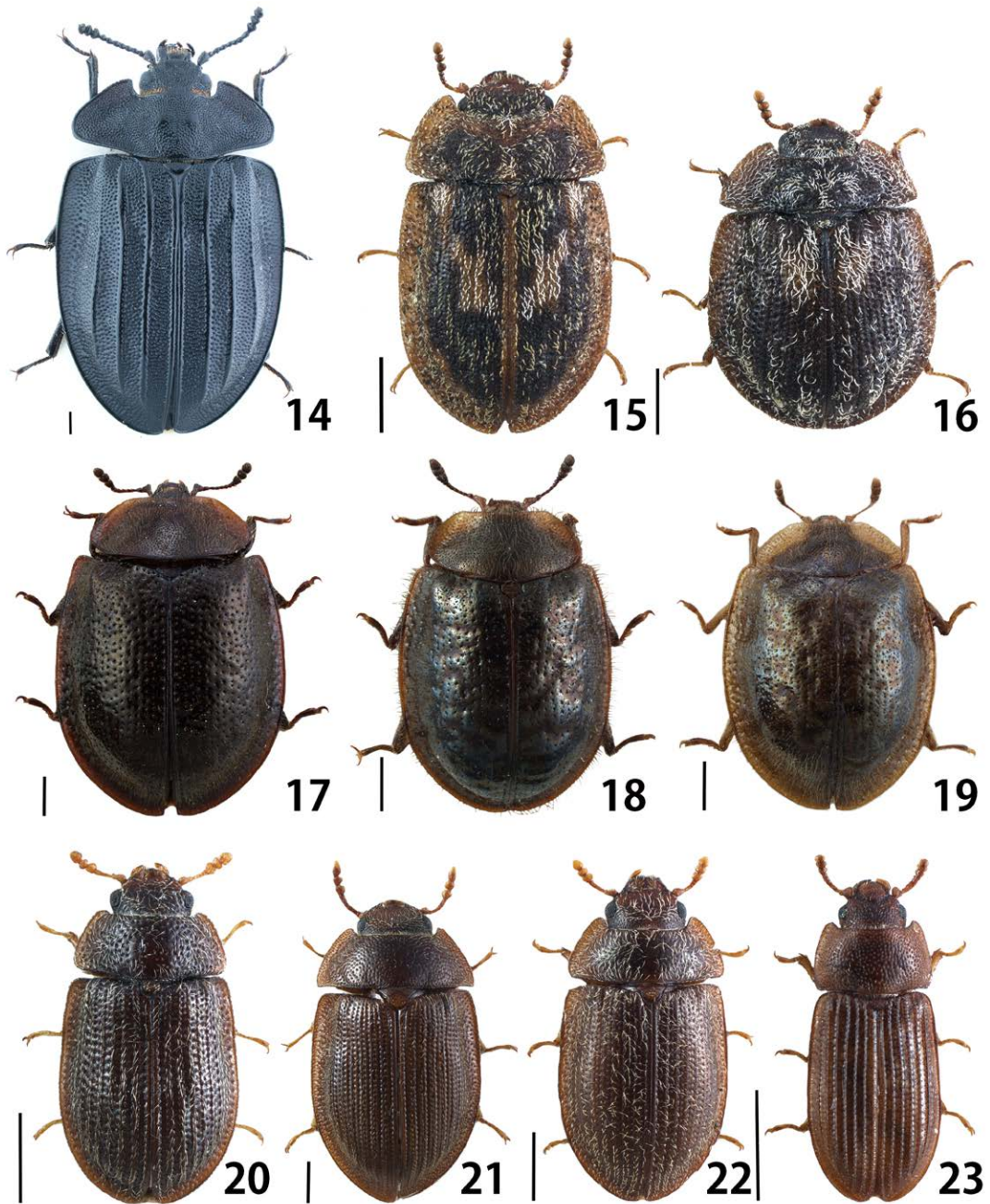


図14-23. 日本産コクヌスト科. 14, オオヒラタコクヌスト; 15, ハロルドヒメコクヌスト; 16, ケマダラヒメコクヌスト; 17, オオズセダカコクヌスト; 18, セダカコクヌスト; 19, アمامセダカコクヌスト; 20, チビコクヌスト; 21, マルヒラタコクヌスト; 22, タイワンマルヒラタコクヌスト; 23, ホソチビコクヌスト. スケールは全て1.0 mm.

#### ヒメコクヌスト亜科

Subfamily Lophocaterinae Crowson, 1964

Tribe Ancyronini Kolibac, 2006

ヒメコクヌスト属 Genus *Ancyrona* Reitter, 1876

[the *lewisi* species-group]

ハロルドヒメコクヌスト *Ancyrona haroldi* Reitter, 1877

(図2, 15) 日本 (北海道, 本州, 伊豆諸島・新島, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 隠岐). 隠岐からは初記録 (標本データ: 3 exs., 隠岐島町鷺ヶ峰, 15-16. VII. 2017, 吉富博之採集). 新島の記録は平野ほか (1993), 屋久島の記録は田中 (2011) による.

ルイスヒメコクヌスト *Ancyrona lewisi* Reitter, 1876

日本.

本種は前種の前古参シノニムの可能性がある.

ケマダラヒメコクヌスト *Ancyrona shibatai* Nakane, 1963 (図16) 日本 (屋久島, 奄美大島, 徳之島).

徳之島からは初記録 (標本データ: 1 ex., 徳之島町手々林道, 17. III. 2009, 一柳考志採集). 屋久島の記録は田中 (2011) による.

#### [the japonica species-group]

チビコクヌスト *Ancyrona japonica* Reitter, 1889 (図20) 日本 (北海道, 本州, 四国).

#### [species-group uncertain]

マルヒラタコクヌスト *Ancyrona higonina* (Lewis, 1894) (図21) 日本 (本州, 九州).

台湾マルヒラタコクヌスト *Ancyrona marginata* (Grouvelle, 1913) (図22) 台湾, 日本 (石垣島).

Kolibáč (2013) のリストでは脱け落ちている種.

#### Tribe Lophocaterini Crowson, 1964

##### ホソチビコクヌスト属

##### Genus *Lophocateres* Olliff, 1883

ホソチビコクヌスト *Lophocateres pusillus* Klug, 1883 (図23) 日本 (本州, 九州), 汎世界.

貯穀害虫で, 外来種とされる.

#### 正体不明種

*Ostoma higonina* Lewis, 1894

体長6.5mmで, Yuyamaから得られた1個体を基に記載された. Kolibáč (2013) は不明種として扱っている.

#### 謝辞

本報告を纏めるにあたり, 文献類についての指摘を頂いた亀澤洋氏と林成多博士 (ホシザキグリーン財団) にお礼申し上げる. 本報告に用いた標本の一部は, ホシザキグリーン財団との共同研究における調査の際に得られたサンプルを基にしている.

#### 引用文献

- Crowson, R. A., 1964. A review of the classification of Cleroides (Coleoptera), with descriptions of two new genera of Peltidae and several new larval types. Transactions of the Royal Entomological Society of London, 116: 275-327.
- 芳賀 馨, 1983. カバイロコクヌストを奥鬼怒で採集. 月刊むし, (149): 31.
- 平野雅親, 1986. アサヒナコクヌストを北海道で採集. 月刊むし, (189): 38.
- 平野幸彦・上田康之・渡 弘・吉田篤人, 1993. 伊豆新島産甲虫類採集報告. 神奈川虫報, (104): 1-12.
- Kolibáč, J., 2013. Trogossitidae: A review of the beetle family, with a catalogue and keys. ZooKeys, 366: 1-194.
- 倉橋敏一, 1964. カバイロコクヌスト本州に産す. 昆虫学評論, 16(2): 63.
- 宮武睦夫, 1985. コクヌスト科. Pp. 147-150, pl. 24. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 (編著): 原色日本甲虫図鑑 (III). 500 pp., 保育社.
- 中根猛彦, 1963. コクヌスト科. Pp. 181-186, pl. 91. 中根猛彦ほか (編): 原色昆虫大図鑑 (II) 甲虫編. 443 pp., 北隆館.
- 西田貞二・荒木 哲, 1987. アサヒナコクヌストの北海道における記録. 月刊むし, (196): 36-37.
- 佐々木恵一, 1984. コクヌスト科2種の採集例. Jezoensis, (11): 73.
- 田中 稔, 2011. 屋久島産コクヌスト2種の記録. さやばねニューシリーズ, (2): 17.
- 鳥飼兵治, 1974. 飛騨高地の鞘翅目について. 岐阜県高等学校生物教育研究会編, 岐阜県の動物. Pp. 191-206. 大衆書房.
- 山崎秀雄, 1992. カバイロコクヌスト本州の記録. 甲虫ニュース, (100): 36.
- 吉富博之, 1989. 本州におけるカバイロコクヌストの記録. 月刊むし, (218): 38.

(2018年5月31日受領, 2018年6月13日受理)

#### 【短報】八重山諸島からチビドロムシ科2種を記録

筆者らは, 八重山諸島の竹富島と石垣島からそれぞれ未記録と考えられる2種のチビドロムシ科甲虫を採集しているので報告する.

ババチビドロムシ *Babalimnichus masamii* M. Satô, 1994 (図1, 2)

39 exs., 竹富島 竹富町竹富, 3. IV. 2018, 稲畑採集・保管.

本種は, 海岸岩礁に生息する種で, 本州 (千葉県, 神奈川県, 愛知県, 三重県, 和歌山県, 島根

県, 岡山県, 広島県, 山口県), 伊豆諸島, 佐渡島, 四国 (高知県, 愛媛県), 九州 (宮崎県, 長崎県), 屋久島, 琉球列島 (奄美大島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖縄島, 伊良部島, 宮古島, 石垣島, 与那国島) にかけて広く分布することが知られている (浅野ほか, 2012; 岡田, 2015; 小野ほか, 2012; 亀澤, 2017; 河上・林, 2007; Satô, 1994; 中島, 2005; 生川ほか, 2011; 藤谷, 2006; 藤原, 2009; 松田, 2018; 屋富祖ほか, 2002; 山地, 2006; Yoshitomi, 1998; 吉富, 2011; 吉富, 2014; 吉富・新井, 2004; Yoshitomi & Satô, 2001; レッド